

富士山登山鉄道構想検討会 第1回理事会 議事概要（要旨）

【開催要領】

1. 日時
令和元年7月29日（月）9：00～10：25
2. 場所
都道府県会館4階 401会議室
3. 出席者（敬称略）

| | |
|------------------|-------------------------------|
| デービッド・ アトキンソン | 株式会社小西美術工藝社 代表取締役社長 |
| 岩村 敬 | 一般財団法人環境優良車普及機構会長、元国土交通事務次官 |
| 太田 孝昭 | 認定NPO法人富士山世界遺産国民会議監事 |
| 小田 全宏 | 認定NPO法人富士山世界遺産国民会議運営委員長 |
| 喜勢 陽一 | 東日本旅客鉄道株式会社常務取締役 |
| 山東 昭子 | 参議院議員 |
| 島田 晴雄 | 首都大学東京理事長 |
| 清水 喜彦 | SMBC日興証券株式会社代表取締役社長 |
| 高橋 誠一 | 全国賃貸管理ビジネス協会会長 |
| 平林 良仁 | 認定NPO法人富士山世界遺産国民会議評議員 |
| 藤井 敏嗣 | 山梨県富士山科学研究所所長、前気象庁火山噴火予知連絡会会長 |
| 松浦 晃一郎 | 第8代ユネスコ事務局長、元駐仏大使 |
| 宮田 年耕 | 首都高速道路株式会社代表取締役社長 |

【次第】

1. 開 会
2. 挨 拶 長崎幸太郎 山梨県知事
3. 理事長選出
4. 議 事 (1) 検討の進め方について
 (2) 現状・課題及び想定される論点について
 (3) 検討スケジュールについて
 (4) その他
5. 閉 会

【主な発言】

- ・ 世界遺産としての基本的考え方を踏まえ、富士山の景観を損なわないよう、基本的展望をしっかりと考えて欲しい。
- ・ 文化庁と調整し、ユネスコとも連絡を取って欲しい。
- ・ 勉強のために、関西電力が投資している立山、国家戦略として環境整備を行っているスイスなどの例を考えて欲しい。
- ・ 富士山の価値を高める方針について、国内外の事例を勉強して視野を広げ、世界レベルでどうするか議論することが大事。早い段階でお願いする。
- ・ スイスでは標高3,000mの展望台に上下水道が整備されている。富士山五合目は2,400mだが電気すら無く、富士山の後進性が分かる。
- ・ 五合目の再開発をるところまで含めて鉄道構想を実現して欲しい。
- ・ 富士山登山鉄道と合わせ、五合目が世界から来た方にとって素晴らしい場所になるよう、地元の皆様や多くの有識者とまとめた五合目のランドデザインが、更にもう一段深いものになれば良いと思う。
- ・ 平地に線路を引くのとは全く違い、急勾配で自然環境も厳しい中、災害も予想される。自然災害が起こった場合の乗客の安全確保など、安全の問題を最優先の課題に位置づけて欲しい。
- ・ このプロジェクトは安全性を最優先、環境を大事に、3番目が観光の経済的効果の順番ではないか。素晴らしい議論が出来ている。
- ・ 富士山の利活用により、どのような経済効果が得られて、それが富士山にどう寄与するかをの観点を盛り込むべき。富士山の保全に貢献しながらどうやって稼ぐ形を作るかが問題。交通費に上乗せして課税すると払いやすい。初めから制度として組み込むと良い。
- ・ 富士山を良くする目的で経済的にどこまで貢献できるか、活かせるか、工夫はたくさんあるのではないか。
- ・ 登山鉄道は、地域全体に経済波及効果を及ぼすものでなければならない。
- ・ 富士山の保存と活用のために幾ら必要で、幾ら稼いで幾ら戻ってくるかの流れを整理する必要がある。富士山の減価償却を含め、幾らの収入が富士山に直接・間接に入ってくるか、試算して欲しい。
- ・ 安く、多くの人々が利用できるようにするという時代は終わった。安全や価値あるものにはお金を出す人が多いので、必要な費用に対し、皆が応分の負担をするという基本的な考え方でやって欲しい。
- ・ 富士山は、防災や環境を当然踏まえた上で、新しい日本の観光モデルにする必要がある。但し、経済効果がないと、持続可能性がない。

- ・ 経済合理性を前提にするためにも、収入源をどこに求めるか議論が必要。政府自治体を見捨てて一事業体だけでやれといったら採算性が取れないので、誰もお金を貸さない。
- ・ 主体がどこで、税金でどこまでカバーするかを計画に盛り込まないと、夢物語で終わって勿体ない。

- ・ 富士山は価値があるが、お金をどう捻出して、どう循環させるかというメカニズムを持っていない。この会議ではその検討が一番重要。
- ・ 例えば県や鉄道事業者なども一部出資するという形で新しい会社を作り、そこが事業主体でやれば、採算も取れて上手くいくのではないか。
- ・ 採算性を考える際、経営形態、事業主体をどうするかが重要。
- ・ インフラの整備を純民間でやるのは大変な話。関西国際空港は、あまりに大きな投資を民間ベースでやったため、大赤字になった。インフラ部分は公的支援が無ければ出来ない。上下分離方式も議論していく必要がある。

- ・ 山梨、静岡両県の富士山世界遺産センターを見たが、信仰の山の観点が重要であるが、紹介の仕方が難しく、現状は必ずしも十分ではない。
- ・ 山梨県の世界遺産センターは、色々な媒体を使って、インタラクティブ（双方向型）なもの、深いものに整備する必要がある。本来は継続的にやり直すべきであり、それを支える経済性のところを検討してもらって価値は高い。

(以 上)